

令和4年度第1回 益田市障がい者自立支援協議会 全体会次第

日時：令和4年11月17日（木）14:00～15:00

会場：益田市役所 大会議室

1 開会

2 福祉環境部長あいさつ

3 委員紹介

4 会長・副会長の選任について

5 益田市障がい者自立支援協議会の概要について（資料1）

6 報告

相談支援会議の活動報告（資料2）

7 議題

（1）令和4年度益田市障がい者自立支援協議会の体制及び部会長の指名について
（資料3）

（2）第6期益田市障がい福祉計画・第2期益田市障がい児福祉計画進捗管理について
（資料4）

（3）その他

- ・地域生活拠点整備等の整備について（資料5）
- ・益田市内居宅介護事業所の現状について（資料6）

8 閉会

【各専門部会】15:15～

- ・障がい理解促進部会 : 大会議室
- ・就労・社会参加支援部会 : 第2会議室
- ・障がい福祉人材育成部会 : 第3会議室

○副部会長の選任について

○今年度の取組について

令和４年度益田市障がい者自立支援協議会委員名簿

所 属	職 名	委員名	備考
益田市基幹相談支援センター	主任生活相談員	野村 健	1
地域生活支援センター ポケットプラザ	施設長	後藤 美穂子	1
相談支援事業所 ほっと	管理者	福原 直美	1
障がい者支援施設 ラポール宝生苑	施設長	牧原 直也	1
相談支援事業所 ぷらっと	管理者	池永 綾子	1
サポートセンター FOH	施設長	檜谷 佳誉子	1
西部島根医療福祉センター あゆっこ益田	主任	古川 和子	2
株式会社 きのこハウス	代表取締役	山口 育美	2
NPO法人きずな ひまわり家	所長	隅田 典宏	2
益田市社会福祉協議会	地域福祉部長	中島 克仁	2
益田市障害者福祉センター あゆみの里	施設長	岩本 悟	2
障がい者支援施設 希望の里	施設長	望月 浩幸	2
益田障がい者就業・生活支援センター エスポア	所長	青木 浩文	2
島根県西部発達障害者支援センター ウインド	副センター長	石田 英巳	2
正光会 松ヶ丘病院	統括部長	枡本 典子	3
益田地域医療センター 医師会病院	作業療法士	川崎 訓明	3
島根県益田保健所	所長	長崎 みゆき	3
益田市民生児童委員協議会	副会長	寺戸 弘明	4
益田市身体障害者福祉協会	副会長	安部 利一	5
益田公共職業安定所	統括職業指導官	青木 真由美	7
島根県益田児童相談所	判定保護課長	石飛 美登里	7
島根県立益田養護学校	校長	八束 政義	7
益田市手をつなぐ育成会	監査	露口 慎二	8
益田地域家族会	理事	澤江 功一	8
益田圏域難病患者・家族連絡会	共同代表	水上 真一	8

1. 相談支援事業者 2. 障害福祉サービス事業者 3. 保健・医療 4. 教育・雇用関係の推薦する者 5. 障がい者関係団体の代表
6. 学識経験者 7. 関係行政機関の職員 8. 障がい者又はその家族 9. 公募による一般市民

益田市障がい者自立支援協議会 運営図

●全体会

（開催頻度：年２回程度 構成員：協議会委員・市）

- ・課題を地域全体として共有し、専門部会へ協議を指示
- ・施策提案
- ・計画の推進
- ・計画の進捗管理



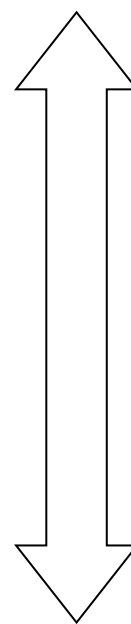
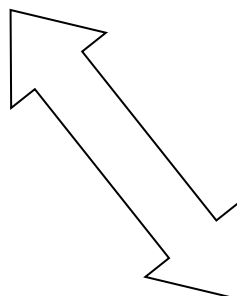
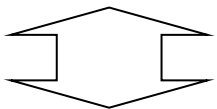
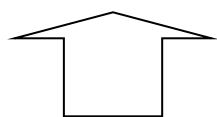
- ・施策提案（行政へ）
- ・施策実施協力依頼（関係機関等へ）

●運営会議

（開催頻度：随時）

（会長、副会長、部会長、副部会長、市）

- ・課題整理・分析
- ・専門部会、全体会の運営管理

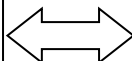


●相談支援会議

（開催頻度：毎月）

（相談支援事業所、基幹相談支援センター、市）

- ・情報共有
- ・事例検討
- ・個別の課題検討



資料提供
等情報交換

●専門部会

（開催頻度：随時）

（各事業所等現場レベル、協議会委員）

- ・課題別に具体的な検討
- ・検討結果を全体会へ報告

令和3年度各部会の成果・課題と今後に向けて

部会名	令和3年度の実施・成果	課題・今後取り上げたいこと
障がい 理解促 進部会	○「障がい者週間」の啓発 ○コミュニケーション支援ボードについて検討。 ○お店で取り組んでいることや、困っていることを聞き取りした。(3店舗聞き取りを実施した。)	○啓発活動を引き続き実施。 ○お店への聞き取りを行う中で、あいサポート研修や手話教室などの周知を行うことができた。聞き取りに行くことが啓発に繋がることも分かったので、今後の活動に活かしたい。
就労・社 会参加 支援部 会	○「地域で障がいのある方の余暇を充実させるため、現状把握のアンケート」を作成、実施。 対象者：就労継続支援A型、B型、就労移行支援事業所の利用者及びその家族 一般就労中のエスポア利用者 回答数：269名 アンケート結果から余暇活動について、現状を把握することができた。	○アンケートの結果を踏まえ、今後、取り組む内容について検討。 ・結果をさらに深掘し、部会として取り組むべき課題を見つける。 ・「いまの休日の過ごし方に満足していない」と回答した方は全体の9%であり、もっと多いことを予想していたため驚いた。もっと楽しいことを知らないだけなのかこの調査結果からはわからないが、支援者が勝手に思い込んでいる部分があると感じたため、現状についてもっと知る必要がある。 ○就労継続支援事業所や相談支援事業所等へアンケート結果を情報提供する。 ・現状について関係機関に知ってもらい、今後の支援に生かしてもらう。
障がい 福祉人 材育成 部会	「第1期益田市障がい福祉人材育成プラン」に基づき ○既存の研修の活用（見える化） ・市公式ホームページへ市内（圏域）の障がい福祉に関する研修情報を一覧化し掲載 ・市内のサービス提供事業所及び近隣の関係機関へ研修情報掲載と研修情報募集の周知を行う。 ・掲載した研修実績 4件（令和3年11月～） ○研修企画 ・令和4年2月14日に若い世代と障がい福祉従事経験5年未満の方を対象とした研修会を企画 →コロナ感染拡大のため、各事業所への案内前に研修会の延期を決定し、次年度研修会を実施予定	○市ホームページ掲載の研修情報の周知を図り、各法人の年間研修計画に活用し職員が参加しやすくする。 ○延期となった研修会を実施し、事業所の枠を超えた意見や情報交換などの横のつながりをつくる（つながる場づくり） ○モチベーションがあがるシステムづくりのため、研修会で意見を求めていく。 ○従事者の相談窓口をつくる。

令和4年11月17日（木）相談支援会議資料

令和4年度 益田市障がい者自立支援協議会 相談支援会議「事例検討を通じて地域課題を発見する」上半期の振り返り

今年度の取り組みは、自立支援協議会への働きかけを最終目的とした事例検討を行う。（担当2回のうち、1回は事例検討会を行う事。もう1回は勉強会や意見交換会等に変更も可能。）事例検討から見えてくる地域課題の抽出を目標とする。相談支援会議がより一層活発な会議となるよう、相談支援専門員のスキルアップも必要である。相談支援専門員が会議の中でファシリテーターを経験し、自己研鑽の場になるように相談支援会議を活用する。

日程	年代	障害種別など	事例内容	担当	地域課題など
令和4年4月21日(木)	小学	言語表現苦手	放課後等デイサービスの利用について	そら	放デイ利用に関して教育（学校）との連携
令和4年5月19日(木)	70代	知的	就労Bを終了後の生活について	ほっと	高齢化によるADL低下、介護保険サービスの利用、地域との関わりなど
令和4年6月17日(金)	高校	発達	要保護児童対策地域協議会ケースについて	ぶらっと	要対協での連携・情報共有、親の支援・介入、基幹相談（後方支援）との関わりなど
令和4年8月18日(木)	20代	発達・自閉	自閉傾向が強い広汎性発達障害の方の支援について	ポケット	親の思いへの理解、(80)5020問題、緊急時の対応（本人への支援）など
令和4年9月15日(木)	年長・中学	てんかん・発達	外国人への相談支援対応について	ラポール	外国人向けパンフレットの必要性、伝え方（言語・手話）、外国人や障害への理解など

事例検討から出たキーワード

※『連携』、『理解』、『障害福祉・介護保険サービス』、『緊急時の対応』、『コミュニケーション』

・こどもロビー、通院介助・院内介助、知的障害の方の高齢化、要保護児童対策地域協議会、親・外国人の支援など

■就労・社会参加支援部会 部会長： 副部会長：

団体名	委員部会所属
益田障がい者就業・生活支援センター エスポア	所 長 青木 浩文
NPO法人きずな ひまわり家	所 長 隅田 典宏
益田公共職業安定所	統括職業指導官 青木 真由美
株式会社 きのこハウス	代表取締役 山口 育美
益田地域家族会	理 事 澤江 功一
益田地域医療センター 医師会病院	作業療法士 川崎 訓明
サポートセンター FOH	施設長 檜谷 佳誉子
島根県西部発達障害者支援センター ウインド	副センター長 石田 英巳

団体名	氏名
益田保健所 保健師	三浦 来美

事務局

障がい者福祉課	坪島 宏明
	大庭 一晃

■障がい福祉人材育成部会 部会長： 副部会長：

団体名	委員部会所属
障がい者支援施設 ラポール宝生苑	施設長 牧原 直也
相談支援事業所 ぷらっと	管理者 池永 綾子
相談支援事業所 ほっと	管理者 福原 直美
島根県益田児童相談所	判定保護課長 石飛 美登里
西部島根医療福祉センター あゆっこ益田	主 任 古川 和子

団体名	氏名
益田保健所 保健師	中村 優

事務局

障がい者福祉課	齋藤 雅
	田中 綾子

■障がい理解促進部会 部会長： 副部会長：

団体名	委員部会所属
益田市基幹相談支援センター	主任生活相談員 野村 健
益田市身体障害者福祉協会	副会長 安部 利一
益田市障害者福祉センター あゆみの里	施設長 岩本 悟
正光会 松ヶ丘病院	統括部長 枡本 典子
障がい者支援施設 希望の里	施設長 望月 浩幸
地域生活支援センター ポケットプラザ	所 長 後藤 美穂子
益田圏域難病患者・家族連絡会	共同代表 水上 真一
島根県立益田養護学校	校 長 八束 政義
益田市社会福祉協議会	地域福祉部長 中島 克仁
益田市民生児童委員協議会	副会長 寺戸 弘明

団体名	氏名
益田保健所 保健師	江角 綾楓

事務局

障がい者福祉課	城市 唱子
	三好 光太

第6期市町村障がい福祉計画・第2期市町村障がい児福祉計画進捗管理

資料4

令和4年10月31日作成

1 障がい福祉サービス等の数値目標

(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行

(単位:人)

施設入所者数							地域生活移行者数			<参考>
R1年度末 時点 ①	R5年度末 時点 ②	目標	実績				目標	実績		新規入所者
		(R2年度末) ①－②	R2. 4. 1	R3. 4. 1	R4. 3. 31 ③	削減人数 ①－③	(R3年度末)	R2年度	R3年度	(R3年度)
85	83	2	85	87	86	-1	5	0	0	2

評価	現状分析・計画達成のための課題
C	在宅サービスの量的・質的充実が必要

※評価欄（A:目標を上回った、B:概ね目標どおり、C:目標を下回った、D:目標を大きく下回った）以下同じです

(2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

(単位:箇所)

	目標 (R5年度末)	R3年度 実績	評価	現状分析・計画達成のための課題
保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置	1	1	B	

(3) 地域生活支援拠点等の整備

(単位:箇所)

	目標 (R5年度末)	実績		評価	現状分析・計画達成のための課題
		R2年度	R3年度		
地域生活支援拠点等	1	0	0		

(4) 福祉施設から一般就労への移行等

	R3年度 実績
就労移行事業所等を通じて、一般就労する者の数	7

(5) 障がい児支援の提供体制の整備等

(単位:箇所)

	目標 (R5年度末)	R3年度 実績	評価	現状分析・計画達成のための課題
児童発達支援センター	1	1		
保育所等訪問支援	1	1		
主に重症心身障がい児を支援する	児童発達支援事業所	1	1	
	放課後等デイサービス	1	1	
医療的ケア児のための協議の場の設置	1	1		

2 障害福祉サービス、障がい児福祉サービスの見込量

(1) 訪問系サービスの月ごとの見込量

		R元年度		R02年度		R03年度		評価	現状分析・計画達成のための課題
		時間	人	時間	人	時間	人		
居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援	見込	1,281	121	1,410	133	1,083	117	B	
	実績	1,148	106	1,075	110	1,062	103		
	達成率	89.6%	87.6%	76.2%	82.7%	98.1%	88.0%		

(2) 日中活動系サービスの月ごとの見込量

		R元年度		R02年度		R03年度		評価	現状分析・計画達成のための課題
		人日	人	人日	人	人日	人		
生活介護	見込	3,222	198	3,287	199	3,290	203	B	
	実績	3,061	191	3,088	182	3,165	183		
	達成率	95.0%	96.5%	93.9%	91.5%	96.2%	90.1%		
自立訓練（機能訓練）	見込	-	-	-	-	-	-	A	
	実績			1	1	42	2		
	達成率	-	-	-	-	-	-		
自立訓練（生活訓練）	見込	168	12	168	12	80	7	A	
	実績	85	6	56	8	56	12		
	達成率	50.6%	50.0%	33.3%	66.7%	70.0%	171.4%		
就労移行支援	見込	98	7	113	9	50	4	A	
	実績	28	2	40	5	35	5		
	達成率	28.6%	28.6%	35.4%	55.6%	70.0%	125.0%		
就労継続支援（A型）	見込	1,021	50	1,062	52	850	45	A	
	実績	886	44	841	53	838	54		
	達成率	86.8%	88.0%	79.2%	101.9%	98.6%	120.0%		
就労継続支援（B型）	見込	2,331	128	2,424	131	2,614	141	B	
	実績	2,373	129	2,352	155	2,320	156		
	達成率	101.8%	100.8%	97.0%	118.3%	88.8%	110.6%		
就労定着支援	見込	0	2	0	2	0	2	A	
	実績	2	1	2	2	2	2		
	達成率	-	50.0%	-	100.0%	-	100.0%		
療養介護	見込	-	20	-	20	-	20	A	
	実績		20		20		20		
	達成率	-	100.0%	-	100.0%	-	100.0%		

(2) 日中活動系サービスの月ごとの見込量

		R元年度		R02年度		R03年度		評価	現状分析・計画達成のための課題
		人日	人	人日	人	人日	人		
短期入所（福祉型）	見込	154	23	156	23	200	30	A	
	実績	187	34	182	30	162	54		
	達成率	121.4%	147.8%	116.7%	130.4%	81.0%	180.0%		
短期入所（医療型）	見込	16	2	16	2	10	2	C	
	実績	4	2	5	2	5	1		
	達成率	25.0%	100.0%	31.3%	100.0%	50.0%	50.0%		

(3) 居住系サービスの月ごとの見込量

		R元年度		R02年度		R03年度		評価	現状分析・計画達成のための課題
		人	定員数	人	定員数	人	定員数		
共同生活援助 （グループホーム）	見込	110	－	121	－	100	－	A	
	実績	95	108	116	109	110	109		
	達成率	86.4%	－	95.9%	－	110.0%	－		
施設入所支援	見込	88	－	87	－	87	－	A	
	実績	86		88		89			
	達成率	97.7%	－	101.1%	－	102.3%	－		
自立生活援助	見込	1	－	2	－	0	－	C	
	実績	0	0	0	0	0	0		
	達成率	－	－	－	－	－	－		

(4) 相談支援の月ごとの見込量

		R元年度	R02年度	R03年度	評価	現状分析・計画達成のための課題
		人	人	人		
計画相談支援	見込	113	116	150	B	
	実績	133	137	139		
	達成率	117.7%	118.1%	92.7%		
地域移行支援	見込	2	3	3	C	
	実績	1	0	0		
	達成率	50.0%	－	－		
地域定着支援	見込	4	4	2	C	
	実績	2	1	1		
	達成率	50.0%	25.0%	50.0%		

(5) 障がい児通所サービスの月ごとの見込量

		R元年度		R02年度		R03年度		評価	現状分析・計画達成のための課題
		人日	人	人日	人	人日	人		
児童発達支援	見込	87	30	87	30	96	24	A	
	実績	94	27	79	20	128	33		
	達成率	108.0%	90.0%	90.8%	66.7%	133.3%	137.5%		
放課後等デイサービス	見込	1,386	134	1,455	140	1,251	143	B	
	実績	1,184	138	1,174	140	1,086	118		
	達成率	85.4%	103.0%	80.7%	100.0%	86.8%	82.5%		
保育所等訪問支援	見込	9	9	14	14	6	6	B	
	実績	5	5	4	4	6	6		
	達成率	55.6%	55.6%	28.6%	28.6%	100.0%	100.0%		
居宅訪問型児童発達支援	見込	-	-	-	-	-	-	-	
	実績								
	達成率	-	-	-	-	-	-		
医療型児童発達支援	見込	-	-	-	-	-	-	-	
	実績								
	達成率	-	-	-	-	-	-		
障がい児相談支援	見込	-	33	-	35	-	41	B	
	実績		39		35		35		
	達成率	-	118.2%	-	100.0%	-	85.4%		

1 地域生活支援事業の見込量

[必須事業]

	単位		R元年度	R02年度	R03年度	評価	現状分析・計画達成のための課題
1 理解促進研修・啓発事業	(有=1 無=0)	見込	1	1	1	A	
		実績	1	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
2 自発的活動支援事業	(有=1 無=0)	見込	1	1	1	B	
		実績	1	0	0		
		達成率	100.0%	－	－		
3 相談支援事業							
(1) 障害者相談支援事業(実施箇所数)	箇所	見込	5	5	5	A	
		実績	5	5	5		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
基幹相談支援センターの設置	(有=1 無=0)	見込	1	1	1	A	
		実績	1	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
(2) 基幹相談支援センター等機能強化事業	(有=1 無=0)	見込	1	1	1	A	
		実績	1	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
(3) 住宅入居等支援事業	(有=1 無=0)	見込	1	1	1	A	社会福祉協議会が実施する「入居債務保証支援事業」で同様の支援を実施している。
		実績	1	1	1		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
4 成年後見制度利用支援事業(実利用者数)	人	見込	1	1	3	B	
		実績	3	0	1		
		達成率	300.0%	－	33.3%		
5 成年後見制度法人後見支援事業	(有=1 無=0)	見込	1	1	0		
		実績	0	0	0		
		達成率	－	－	－		

1 地域生活支援事業の見込量

	単位		R元年度	R02年度	R03年度	評価	現状分析・計画達成のための課題
6 意思疎通支援事業							
(1) 手話通訳者設置事業(実設置者数)	人	見込	4	4	4	B	
		実績	4	4	3		
		達成率	100.0%	100.0%	75.0%		
(2) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業(実利用件数)	件	見込	162	175	170	B	
		実績	167	131	225		
		達成率	103.1%	74.9%	132.4%		
(3) 入院時コミュニケーション支援	件	見込	2	2	2	B	
		実績	2	0	0		
		達成率	100.0%	－	－		
7 日常生活用具給付事業							
(1) 介護・訓練支援用具	件	見込	2	2	4	B	
		実績	1	4	0		
		達成率	50.0%	200.0%	－		
(2) 自立生活支援用具	件	見込	13	13	6	B	
		実績	5	6	6		
		達成率	38.5%	46.2%	100.0%		
(3) 在宅療養等支援用具	件	見込	10	10	7	B	
		実績	3	7	4		
		達成率	30.0%	70.0%	57.1%		
(4) 情報・意思疎通支援用具	件	見込	12	12	10	B	
		実績	8	8	9		
		達成率	66.7%	66.7%	90.0%		
(5) 排泄管理支援用具	件	見込	1,130	1,130	1,050	A	
		実績	1,118	1,083	1,110		
		達成率	98.9%	95.8%	105.7%		
(6) 居宅生活動作補助用具(住宅改修費)	件	見込	2	2	1	A	
		実績	1	0	1		
		達成率	50.0%	－	100.0%		
8 手話奉仕員養成事業(講習修了者数)	人	見込	30	30	30	B	
		実績	13	0	19		
		達成率	43.3%	－	63.3%		

1 地域生活支援事業の見込量

	単位		R元年度	R02年度	R03年度	評価	現状分析・計画達成のための課題
9 移動支援事業 (上段:実利用者数、下段:延べ利用時間数)	人	見込	75	75	70	B	
		実績	53	59	61		
		達成率	70.7%	78.7%	87.1%		
	時間	見込	1,850	1,850	1,830	A	
		実績	3,560	2,946	2,841		
		達成率	192.4%	159.2%	155.2%		
10 地域活動支援センター (上段:実施箇所数、下段:実利用者数)	箇所	見込	2	2	2	A	
		実績	2	2	2		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	人	見込	135	140	130	B	
		実績	98	81	74		
		達成率	72.6%	57.9%	56.9%		

〔任意事業〕

11 生活訓練等事業	件	見込	23	23	23	-	島根県の事業に引継
		実績	23	-	-		
		達成率	100.0%	-	#VALUE!		
12 日中一時支援事業 (上段:箇所数、下段:延べ利用時間数)	箇所	見込	10	11	10	A	
		実績	10	10	9		
		達成率	100.0%	90.9%	90.0%		
	時間	見込	2,300	2,300	4,000	A	
		実績	3,857	3,716	4,179		
		達成率	167.7%	161.6%	104.5%		
13 点字・声の広報等発行事業	件	見込	22	22	22	A	
		実績	24	24	24		
		達成率	109.1%	109.1%	109.1%		
14 手話奉仕員、要約筆記奉仕員研修事業 (上段:手話奉仕員登録者数、下段:要約筆記登録者数)	手話奉仕員登録者数	見込	50	60	70	A	
		実績	65	48	58		
		達成率	130.0%	80.0%	82.9%		
	要約筆記登録者数	見込	21	25	21	B	
		実績	18	17	11		
		達成率	85.7%	68.0%	52.4%		

1 地域生活支援事業の見込量

	単位		R元年度	R02年度	R03年度	評価	現状分析・計画達成のための課題
15 自動車運転免許取得・改造助成事業	件	見込	2	2	2	B	
		実績	0	0	2		
		達成率	-	-	100.0%		

益田市地域生活支援拠点等について（概要）

1. 地域生活支援拠点等とは

障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能（以下①～⑤）を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がい者の生活を地域全体で支えていく仕組みのことです。

益田市では、「相談機能」「緊急時の受入れ・対応」の2つの機能について検討・整理を行い、令和3年4月に地域生活支援拠点等を面的整備型として運用しています。

【拠点整備に必要な5つの機能】

- | | |
|-----------------|------|
| ①相談機能 | …整備済 |
| ②緊急時の受入れ・対応の機能 | …整備済 |
| ③体験の機会・場の機能 | |
| ④専門的人材の確保・養成の機能 | |
| ⑤地域の体制づくりの機能 | |

2. 各種機能及び事業所一覧

（1）相談機能

相談機能とは、緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録した上で、常時の連絡体制を確保し、障がい特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスのコーディネートや相談その他必要な支援を行います。

【相談の機能を担う事業所一覧】

事業所名	法人名
相談支援事業所 ほっと	社会福祉法人はびねす福祉会
こころから相談所 そら	社会医療法人正光会
ラポール宝生苑	社会福祉法人梅寿会
相談支援事業所 ぷらっと	社会福祉法人 E.G.F
相談支援事業所 ポケットプラザ	社会福祉法人希望の里福祉会

(2) 緊急時の受入れ・対応の機能

緊急時の受入れ・対応の機能とは、短期入所等を活用した常時の緊急受入体制等を確保し、介護者の急病や障がい者の状態変化等の緊急時の受入れや医療機関への連絡その他の必要な対応を行います。

【緊急時の受入れ・対応の機能を担う事業所一覧】

事業所名	法人名
グループホーム光が丘	社会医療法人正光会
障がい者支援施設 ラポール宝生苑	社会福祉法人梅寿会
障がい者支援施設 希望の里	社会福祉法人希望の里福祉会
地域生活支援センター ポケットプラザ	社会福祉法人希望の里福祉会

3. 今後の地域生活支援拠点等の整備について

未整備の機能についての拡充を図るため、検討を行っていく必要がある。

現在未整備の機能

・体験の機会・場の機能

病院や施設、親元からの自立に当たって、障害福祉サービスの利用や、一人暮らしの体験の機会・場を提供する。

・専門的人材の確保・養成の機能

医療的ケアが必要な方や行動障がいの有する方、高齢化に伴い重度化した障がい者に対して専門的な対応を行うことができる体制の確保や専門的な対応ができる人材の養成を行う機能

・地域の体制づくりの機能

地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能

益田市内居宅介護事業所の現状について

1. 経過

令和4年6月上旬に益田市在宅重度心身障害児（者）の保護者から市へ「居宅介護のヘルパーが不足していると聞き、居宅介護の利用ができなくなることを危惧し、介護保険で指定を受けている事業所に障がいの指定も受けていただいて、障がい者も利用できるようにならないか」との相談があり、居宅介護事業所の現状を把握するため、事業を行っている市内4事業所に聞き取り調査を実施した。

2. 現状

- ・居宅介護事情のマンパワーが不足している。
- ・特に身体介護については、ヘルパーの高齢化により担い手が少なくなっている。
- ・ヘルパーを辞める人が多い。
- ・ヘルパーの資格要件が厳しいことも影響している。

3. 課題

- ・新規の受入調整が難しくなってくる可能性が高い。
- ・障害福祉サービスを利用する方が地域で安心して暮らせるように、居宅介護支援事業の担い手不足を課題として捉え、何らかの取組が必要。

4. 今後の対応

居宅介護事業の担い手が不足している現状を、自立支援協議会において課題として共有し、実態調査等を行い、検討を行う。